

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	誰もが、障がい・年齢に関係なく「できることではなく、やりたいことを」
事業主体 (連絡先)	団体名：ユニバーサル・サポートすわ 連絡先：090-3558-4502 メール：yunisaposuwa@gmail.com
事業区分	6ア 特色ある観光地づくり 2 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	787,660円 (うち支援金：630,000円)

事業内容

- 「誰にでもやさしい観光地すわになるために」
新しい外出余暇の創出『ユニサポさんぽ』プロジェクト
●コロナ禍で外出がさらに困難になっている、高齢者・障がい者に、諏訪や全国の観光地や施設をオンラインで繋ぎ、生配信で施設や自宅で観ていただきながら、双方向で旅を楽しんでいただくオンラインツアー『ユニサポさんぽ』を届けた。オンラインツアー後も繰り返し楽しめるように、DVDにして施設に配布した。
・諏訪大社下社春宮と木遣りその周辺 他(レポーター:アキラ 100%)
- 諏訪近郊のモニターツアーによる、地域における受け入れ力向上研修
高齢・障がい当事者の旅行や外出・結婚式等のサポートをするにあたり福祉や観光関係者・地域支援者らと連携をすることで、取り組みを地域に知ってもらったり、受け入れ側の理解を深めることができた。
・コロナ禍の結婚式介助、蓼科東急ホテル
・人生最後の温泉入浴介助・ラコ華乃井ホテル 他
- 心のバリアフリー研修・車いす・JINRIKI 体験の実施
●障がいや高齢について正しい理解(信州あいサポーター研修)・意識啓発を、小・中学校、高校、大学生、一般企業。対象年齢や職種に合わせてプログラムを変えて行なう。DVD、高齢者・障がい者疑似体験グッズ、JINRIKI、車いす等を利用し、心のバリアフリーを推進する。
・あいサポーター研修=池の平ホテル、諏訪中学校、長野県福祉大学校、上田千曲高校、原中学校、JR上諏訪駅 他



【ユニサポさんぽオンライン下社春宮】

【目標・ねらい】

- ①誰もが安心して楽しめる環境、人づくりと地域の連携
- ②多様性を尊重する共生社会
- ③持続可能な心のバリアフリー
- ④新しい生活様式に基づいた外出の創出

事業効果

- 上記1により
- ・コロナ禍での外出自粛や様々な制限により、高齢者や障がい者はフレイルの進行で心身に支障をきたした人、認知症が進行した人等が増加している。フレイル予防のためにも、新しい生活様式に基づいた外出や旅行、社会参加の再開が必要であった。
 - ・オンラインツアー(諏訪大社上社下社・おんぼしらよいさ館・バラクライングリッシュガーデン)は、高齢者や花田養護学校の生徒さんのフレイル予防や元気作りに役立っている。
- 上記2・3により
- ・これまでの活動やセミナー等に参加して下さった、宿泊観光事業者・行政担当者等が、ユニバーサルツーリズムの可能性や重要性に関心を持ち始め、理解も少しずつ進み始めている中で、宿泊施設のバリアフリー改修についての相談や、アドバイスの依頼をいただくようになる。
 - ・コロナ禍における新しい旅のスタイルに対して、行政担当者や観光関係者の意識の変化が現れてきている。
 - ・あいサポート研修に留まらず、疑似体験グッズや、車いす、JINRIKIを使用した体験を組み合わせることで、各種障がいへの理解がより深まったり、災害時避難にも役立つ。あいサポート研修+疑似体験グッズや、車いす、JINRIKIを使用した体験+ヘルプマーク啓発で心のバリアフリーを伝えることで、『誰にでもやさしい観光地すわ』になる

※自己評価【 A 】

【理由】
ユニバーサルツーリズムや心のバリアフリーに対して、行政担当者や観光関係者、地域住民の意識の変化が現れてきている。共生社会をよりよいものになりたい気持ちや理解が広がった。

今後の取り組み

今後も、誰一人取り残さない諏訪であり信州にしていきたいと考えております。外出によって『できる事ではなくやりたい事』ができる環境づくりや、多世代・多様間の交流、また、ウィズコロナ禍での外出余暇に関わる事例づくりを、障がい・高齢当事者や、観光・宿泊事業者、福祉関係者、行政関係者等との協働で進めていきたい。